

feeling arts with Kimono

2012年9月30日(日) 場所：萩城城下町界限

9月30日(日)、社会開発委員会の事業「feeling arts with Kimono」が開催されました。

金子委員長のもとで、萩の美しい町並みを全国にPRしていくためにどうしたら良いだろうと委員会を重ねました。その中で、伝統文化である「着物」をテーマに城下町を五感で感じて頂き、今も残る美しい萩を多くの方に再認識して頂こうという思いで事業を開催しようということになりました。

委員会メンバーが五感（見る、味わう、聴く、嗅ぐ、肌で感じる）を刺激するにはどうしたら良いかと知恵を出し合い、本物の臨場感を感じてもらえるような事業に向けて必死に取り組んでまいりました。

その中で、晋作広場ではライブ（ピストルバルブ）を開催し、江戸屋横町までは鯨茶漬け等、萩の食が楽しめるイベントを行い、菊屋横町では着物姿で写真撮影を行うなど城下町全体を楽しめるように事業の準備を進めていきました。

事業当日は悪天候で、なかなか着物を着た人も少なく、本当に晋作広場でライブが出来るか不安でしたが、金子委員長をはじめ青年会議所メンバーの思いが通じたのか、少しずつ天気も回復し、無事にピストルバルブのライブを行うことが出来ました。

ピストルバルブのメンバーも城下町で着物を着るという、今までにないスタイルでのライブでしたので、楽しんで演奏して頂き、それに観客が応えて盛り上がっていくことが出来ました。

キモノスタイルカフェで提供した鯨茶漬けも大変好評で、市外県外からいらした方々からの声もアンケートで頂き、これからの萩の食文化の発展に役立つのではないかと思います。

事業前日、当日と事業に協力してくださった多くの方や青年会議所のメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。天候不順の中、大変ありがとうございました。

社会開発委員会 委員 岡田 泰

